

資料番号	3
------	---

令和4年9月14日
 課名 企業局企業総務課
 担当者 課長 大島
 内線 4310

令和3年度企業局事業の決算概要

1 工業用水道事業

(1) 予算決算状況

(単位：百万円)

区分		予算額 (A)	決算額 (B)	予算残額 (C)=(A)-(B)	(C)の内訳	
					翌年度繰越額	不用額
収益的収支	収入	3,188	3,087	102	-	-
	支出	2,975	2,710	265	-	265
	差引	213	376	-	-	-
資本的収支	収入	1,039	718	321	-	-
	支出	2,004	1,672	332	37	296
	差引	△966	△954 [※]	-	-	-

※資本的収入額が資本的支出額に不足する額954百万円は、減価償却費などの内部留保資金で補填。

表示単位未満を四捨五入し、端数調整していないため、差引等と一致しない場合がある(以下同じ)。

(2) 経営成績(損益計算書)

減価償却費の増加などにより費用が増加したものの、給水収益の増加などにより収益も増加したことにより、当年度純利益は305百万円となり、前年度と同程度となった。

(単位：百万円)

区分	令和2年度決算 A	令和3年度決算 B	前年度比較 B-A
営業収益 a	2,593	2,597	5
うち給水収益	2,023	2,077	54
うちその他営業収益	570	520	△49
営業費用 b	2,374	2,412	38
うち維持管理費	1,629	1,629	0
うち減価償却費	718	774	56
営業損益 c=a-b	218	185	△33
営業外収益 d	199	218	19
営業外費用 e	116	108	△8
経常損益 f=c+d-e	301	295	△6
特別利益 g	0	10	10
特別損失 h	0	0	0
当年度純利益 f+g-h	301	305	4
総収益 a+d+g	2,791	2,825	34
総費用 b+e+h	2,490	2,520	30

(3) 財政状況（貸借対照表）

資産は、現金・預金の増加などにより、前年度に比べて123百万円増加した。

負債は、企業債の減少などにより、190百万円減少した一方、資本は、当年度純利益を計上したことなどにより、313百万円増加した。

（単位：百万円）

区分		令和2年度決算 A	令和3年度決算 B	前年度比較 B-A
資産の部	固定資産	18,748	18,711	△37
	うち有形固定資産	18,569	18,549	△20
	うち無形固定資産	178	162	△16
	流動資産	4,259	4,418	160
	うち現金・預金	3,857	3,995	138
資産合計		23,006	23,129	123
負債の部	固定負債	9,850	9,557	△293
	うち企業債	8,821	8,703	△118
	流動負債	1,593	1,705	112
	うち企業債	613	640	28
	繰延収益	1,930	1,921	△10
負債合計		13,373	13,183	△190
資本の部	資本金	6,971	7,258	287
	剰余金	2,662	2,689	26
	うち資本剰余金	614	622	8
	うち利益剰余金	2,049	2,067	18
	うち未処分利益剰余金*	2,049	2,067	18
	資本合計	9,633	9,946	313
負債・資本の合計		23,006	23,129	123

※未処分利益剰余金2,067百万円のうち、681百万円を資本金への組入並びに減債積立金及び建設改良積立金として処分予定。

(4) 主な経営指標

経営の健全性を示す経常収支比率は111.7%であり、健全経営の水準とされる100%を上回っている。

料金水準の妥当性を示す料金回収率は109.7%で、給水に係る費用を給水収益で賄えている。

（単位：%）

区分	令和2年度 A	令和3年度 B	前年度比較 B-A
経常収支比率	112.1	111.7	△0.4
料金回収率	111.8	109.7	△2.1

2 水道用水供給事業

(1) 予算決算状況

(単位：百万円)

区分		予算額 (A)	決算額 (B)	予算残額 (C)=(A)-(B)	(C)の内訳	
					翌年度繰越額	不用額
収益的収支	収入	11,530	11,652	△122	-	-
	支出	9,575	9,089	486	-	486
	差引	1,955	2,563	-	-	-
資本的収支	収入	2,731	2,256	475	-	-
	支出	8,877	7,500	1,377	151	1,225
	差引	△6,146	△5,244*	-	-	-

※資本的収入額が資本的支出額に不足する額5,244百万円は、減価償却費などの内部留保資金で補填。

(2) 経営成績（損益計算書）

給水収益の減少などにより収益が減少したこと、維持管理費の増加などにより費用が増加したことにより、当年度純利益は2,249百万円となり、前年度と比較して122百万円の減少となった。

(単位：百万円)

区分		令和2年度決算 A	令和3年度決算 B	前年度比較 B-A
営業収益	a	9,688	9,580	△108
	うち給水収益	9,628	9,538	△90
営業費用	b	7,989	8,074	86
	うち維持管理費	3,913	4,043	130
	うち減価償却費	4,041	4,020	△20
営業損益	c=a-b	1,700	1,506	△194
営業外収益	d	1,094	1,093	△1
営業外費用	e	412	360	△52
経常損益	f=c+d-e	2,381	2,239	△142
特別利益	g	0	10	10
特別損失	h	10	0	△10
当年度純利益	f+g-h	2,371	2,249	△122
総収益	a+d+g	10,782	10,683	△99
総費用	b+e+h	8,411	8,434	23

(3) 財政状況（貸借対照表）

資産は、建設改良事業による有形固定資産の増加や現金・預金の増加などにより、前年度に比べて1,951百万円増加した。

負債は、企業債の減少などにより、1,022百万円減少した一方、資本は、当年度純利益を計上したことや一般会計出資金を繰入れたことなどにより、2,974百万円増加した。

（単位：百万円）

区分		令和2年度決算 A	令和3年度決算 B	前年度比較 B-A
資産 の 部	固定資産	113,114	114,061	947
	うち有形固定資産	88,108	89,931	1,823
	うち無形固定資産	24,888	23,996	△893
	流動資産	22,653	23,657	1,004
	うち現金・預金	21,553	22,165	612
資産合計		135,767	137,718	1,951
負債 の 部	固定負債	17,117	15,336	△1,781
	うち企業債	16,119	14,021	△2,098
	流動負債	4,874	5,388	514
	うち企業債	2,088	2,098	10
	繰延収益	22,562	22,807	245
負債合計		44,553	43,531	△1,022
資本 の 部	資本金	66,975	69,546	2,571
	剰余金	24,193	24,578	385
	うち資本剰余金	3,830	3,830	0
	うち利益剰余金	20,363	20,748	385
	うち未処分利益剰余金*	6,541	5,945	△596
	評価差額等	46	63	17
資本合計		91,214	94,187	2,974
負債・資本の合計		135,767	137,718	1,951

※未処分利益剰余金5,945百万円のうち、1,390百万円を資本金への組入として処分予定。

(4) 主な経営指標

経営の健全性を示す経常収支比率は126.5%であり、健全経営の水準とされる100%を上回っている。

料金水準の妥当性を示す料金回収率は125.2%で、給水に係る費用を給水収益で賄えている。

（単位：%）

区分	令和2年度 A	令和3年度 B	前年度比較 B-A
経常収支比率	128.3	126.5	△1.8
料金回収率	127.3	125.2	△2.1

3 流域下水道事業

(1) 予算決算状況

(単位：百万円)

区分		予算額 (A)	決算額 (B)	予算残額 (C)=(A)-(B)	(C)の内訳	
					翌年度繰越額	不用額
収益的収支	収入	8,887	8,490	397	-	-
	支出	8,862	8,409	453	-	453
	差引	25	81	-	-	-
資本的収支	収入	3,894	2,906	988	-	-
	支出	4,723	3,806	917	727	190
	差引	△829	△900*	-	-	-

※資本的収入額が資本的支出額に不足する額 900 百万円は、減価償却費などの内部留保資金で補填。

(2) 経営成績（損益計算書）

市町からの維持管理負担金が増加したものの、他会計補助金や長期前受金戻入の減少などにより収益が減少したこと、維持管理費の増加などにより費用が増加したことにより、当年度純利益は 58 百万円となり、前年度と比較して 50 百万円の減少となった。

(単位：百万円)

区分		令和 2 年度決算 A	令和 3 年度決算 B	前年度比較 B-A
営業収益	a	4,382	4,498	116
	うち維持管理負担金	3,244	3,533	288
	うち他会計補助金	949	798	△151
営業費用	b	7,727	7,800	74
	うち維持管理費	3,464	3,690	226
	うち減価償却費	4,256	4,085	△172
営業損益	c=a-b	△3,344	△3,302	42
営業外収益	d	3,741	3,609	△131
	うち長期前受金戻入	3,397	3,281	△116
営業外費用	e	288	252	△36
経常損益	f=c+d-e	108	56	△52
特別利益	g	0	3	3
特別損失	h	0	0	0
当年度純利益	f+g-h	108	58	△50
総収益	a+d+g	8,123	8,110	△13
総費用	b+e+h	8,015	8,052	37

(3) 財政状況（貸借対照表）

資産は、有形固定資産の減価償却などにより、前年度に比べて1,962百万円減少した。

負債は、繰延収益の減少や企業債の減少などにより、2,021百万円減少した一方、資本は、当年度純利益を計上したことにより、58百万円増加した。

（単位：百万円）

区分		令和2年度決算 A	令和3年度決算 B	前年度比較 B-A
資産 の 部	固定資産	126,292	124,404	△1,888
	うち有形固定資産	126,250	124,362	△1,888
	うち無形固定資産	2	2	0
	流動資産	2,625	2,550	△74
	うち現金・預金	2,265	2,280	14
資産合計		128,917	126,954	△1,962
負債 の 部	固定負債	13,866	13,069	△797
	うち企業債	13,602	12,823	△780
	流動負債	2,964	2,821	△143
	うち企業債	1,367	1,292	△76
	繰延収益	72,102	71,021	△1,081
負債合計		88,932	86,911	△2,021
資本 の 部	資本金	11,404	11,404	0
	剰余金	28,581	28,639	58
	うち資本剰余金	28,390	28,390	0
	うち利益剰余金	191	249	58
	うち未処分利益剰余金	191	249	58
	資本合計	39,985	40,043	58
負債・資本の合計		128,917	126,954	△1,962

(4) 主な経営指標

経営の健全性を示す経常収支比率は100.7%であり、健全経営の水準とされる100%を上回っている。

（単位：%）

区分	令和2年度 A	令和3年度 B	前年度比較 B-A
経常収支比率	101.3	100.7	△0.6